

平成 31 年 4 月 1 日
一筆啓上・作左の会

講演会のお知らせ

陽春の候、皆様方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃は一筆啓上・作左の会の活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

今回、講師に市橋章男先生をお迎えし、講演会を下記の通り開催しますので興味のある方は聴講をお願いします。(会員以外も可)

記

日 時：4 月 14 日(日)10：50 頃から（「作左の会」総会終了後）

場 所：六ツ美西部学区市民ホーム

◆テーマ 「家康公を支えた三河武士」
—「徳川四天王」はどのように生まれてきたのか—

◆概 要

徳川家康の天下平定事業を支えた三河武士たち。とりわけ後年に「四天王」と呼ばれた酒井忠次、本多忠勝、榊原康政、井伊直政について、彼らが何故特別な存在となったのかを様々な視点から解き明かします。

◆プロフィール

市橋章男（いちはし・あきお）

【略歴】

1954 年、岡崎市生まれ。

國學院大學で史学を専攻。新編岡崎市史調査員。

教職員退職後、ふるさと岡崎にかかわる歴史・人物の著作活動を始める。

2005 年、岡崎長誉館で「おかざき塾歴史教室」を主宰開講。

2017 年、タニザワ大学研修センターで「岡崎ふるさと歴史講座」を開講。

元二松学舎大学大学院研究員、全国歴史研究会特別会員。